



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 群馬支店

CSV×DXを通じて、
お客さま・地域・社会の未来を
支えつづけます。



高崎市

住所 高崎市小八木町895
TEL 027-361-2711
URL <https://www.aioinissaydowa.co.jp/>
代表者 桜井 直和 (群馬支店長)
設立 1918年6月30日
資本金 1,000億円
従業員 14,626人

WEBサイト



企業紹介

当社は目指す姿を「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづけます。」としています。これは未知のリスクや様々な社会・地域課題に対して、最先端のデジタル技術・データを活用した新たな保険・サービスを生み出すことによって、安全・安心で快適な、新しい社会を創り出していくという考え方です。この「CSV×DX」で社会・地域課題の解決に取り組み、社会との共通価値を生み出していきたいと考えています。

経緯・背景

自然災害の甚大化やIT社会の伸展等、社会の変化に伴う新たなリスクの出現により、当社の事業環境は目まぐるしいスピードで大きく変化しています。こうした変化に対して保険・サービスを進化させるためには、最先端のデジタル技術が必要不可欠となります。また当社は行動指針の一つとして「地域密着」を掲げており、地域に根差した事業活動を進めています。「CSV×DX」を通じて、群馬県の地域課題に取り組み、県民・県内事業者の皆さまの安全・安心に貢献することが私達の使命です。

テレマティクス技術で 自動車事故の減少を目指し、 安全・安心なまちづくりへ

具体的な取組・成果

「CSV×DX」をコンセプトに最先端の技術やデジタル・データを活用して、地域課題の解決に取り組んでいます。

CSV×DX まだ誰も知らない安心を、ともに。

●テレマティクス技術による交通安全対策

群馬県の地域課題の一つである自動車交通事故や中高生による通学時の自転車事故の削減に向けた取組として、県内の多くの事業者の皆さまにもご支援いただきながら、2023年2月にテレマティクス技術を活用した交通安全イベントを開催致しました。今後もこうしたイベントを通じて、ドライバーの皆さまの安全運転意識の向上をサポートし、自動車事故の抑制とエコドライブ推進に貢献していきたいと考えています。

また当社が保有するビッグデータを活用し、危険な運転挙動の発生頻度が高い地点を可視化する交通安全EBPM支援サービスの提供を始めました。当社と連携協定を結んでいる各自治体を中心に提案を始めており、群馬県の安全・安心なモビリティ社会の実現に向けて取り組んでいます。



●群馬大学との共同実験

群馬大学と完全自律型自動運転を可能とする次世代モビリティに関する研究の産学連携協定を結んでいます。2018年には富岡市で自動運転バスの実証実験を行うなど、今後もCASE/MaaSへの取組から「住み続けられるまちづくりを」の実現に貢献していきたいと考えております。

●SDGsの普及促進

2022年5月に「SDGsぐんま連絡会議」に参画しました。同年12月にはSDGsぐんま連絡会議の協力を得て当社取引先や自治体職員の方々を対象に、SDGsワークショップを開催しカードゲームを体験していただきました。今後も当社のステークホルダーを含めたSDGsの普及促進に努めていきます。



2022年12月開催のSDGsワークショップ

当社にとってのSDGsビジョン

サステナビリティ重点取組項目として3つ設定しています。具体的には、

- ・健やかな地球環境を未来につなぐ
- ・レジリエントな社会の実現へ貢献する
- ・すべての人の幸福と自分らしい生き方を支える

です。この3つの視点から社会・地域課題の解決に貢献していきたいと考えています。

今後の展望と求めるパートナー像

デジタル技術を活用した地域課題解決と一緒に取り組んでいただける企業様とのアライアンスを拡大していきます。また地域密着を掲げる当社としては群馬県の地域課題解決に向けて、自治体、警察、商工団体、大学などへ様々な情報提供を行い、連携をして「産・官・学・民」一体となった取組を目指しています。



有限会社石川鉄工所

精度の高い製品を供給
現場のDX化を推し進め、
情報が飛び交う工場へ



太田市

住所 太田市上小林町261-3
TEL 0276-25-0035
Mail k_ishikawa@ishikawatekkou.co.jp
URL http://www.ishikawatekkoujo.com/
代表者 石川 一仁
設立 1968年3月15日
資本金 3,000,000円
従業員 20人



企業紹介

自動車用プレス金型一筋、起業して50年になる会社です。自動車の軽量化や品質向上の要求の高度化に伴い、プレス金型にもさらなる高品質化が求められます。当社は金型の生産プロセスにて「人と機械の協調」を第一に掲げ、人と機械が共に成長・進化する新たなものづくりに挑戦してきました。この取組は行政から高く評価され、「地域未来牽引企業」(2020年10月)、「はばたく中小企業・小規模事業者300社」(2021年12月)に選定される企業へ成長しました。

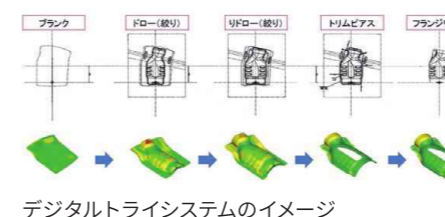
経緯・背景

温室効果ガス削減という社会的課題の解決に向けて、自動車分野では脱炭素化に向けた様々な取組がなされています。当社では、自動車メーカーの要求する高度な金型の供給を通じて、EV普及や車体軽量化等での脱炭素化に貢献しています。この取組にはSDGsに貢献する持続可能な金型づくり・ものづくりの実現が必須であり、そのための金型の生産プロセスへのデジタル技術の積極的な活用を推進しています。人と機械が共に成長・進化するものづくりを、デジタルの力で持続可能なものにしてまいります。

データベースの蓄積により 製品精度が顕著に向上 EV化の対応にも自信

具体的な取組・成果

プレス金型の製作では、材料の高張力化に伴うスプリングバックの増大により、金型の修正工数が大幅に増加し、生産性を著しく低下させることが問題となります。その原因は、製作した金型で成形トライを行い、成形品の誤差をもとにまた金型を修正するという実機での試行錯誤が何度も繰り返されるためです。そこで、従来実機で実施していた金型修正の試行錯誤の作業を、コンピュータ(バーチャル)上で全て行うデジタルトライシステムを構築し、実用化しました。本システムでは、成形システムの3Dモデルによる成形解析を高度化させ、実機での成形をバーチャル上で再現させるデジタルツインを、高い精度で実現します。これによりバーチャル上で不具合を発見し改善することが可能となり、実機での金型の修正工数を大幅に削減することができ、製造コスト削減(-36%)、製作期間短縮(-50%)を実現しました。



コロナ禍において、自動車業界では特に海外から輸入する部品が途絶え、自動車の生産を行うことができないことが問題となりました。その原因は、部品の生産を安価な海外にて行うためです。そこで、自動車用金型のサプライチェーン毀損リスクに対応するため、従来海外で一部製造していた金型部品を国内で製造する生産体制を整備しました。2022年に、当該生産機能を整備するための新工場を設立し、部品加工に用いる工作機械「6パレット付き5軸マシニングセンタ」及び成形トライに用いるプレス機「1000t機械式プレス」を導入しました。マシニングセンタにより、部品の加工精度の向上(±0.05mmから±0.01mm)および1日あたりの平均部品製作数の増加(2個から6個)の効果が得られました。機械式プレス機により、社内での成形トライが可能となり、従来の客先でのトライ回数の削減(-20%)の効果が得られました。これらの生産性向上の効果から、海外と同等水準のコストにて国内で金型部品の製造が可能となりました。



6パレット付き5軸マシニングセンタ。製品精度が向上した



新工場に導入した1000t機械式プレス

当社の方針である「人と機械が協調する」製造プロセスにおいて、特に高度な熟練者の保有する技能のデジタル化(見える化)を行い、人への教育訓練や機械化へ活用したことで生産性向上の効果が得られました。特に、属人性の高さに由来する不具合やミスの防止に効果を発揮し、慢性的に生じていた残業をなくすことに成功しました。

当社にとってのSDGsビジョン

人と機械がデジタルで高度に協調する仕組みを通じて、持続可能な金型づくり・ものづくりを未来に向けて実現します。私たちが製作する金型の製造プロセスの改善、そして製作した金型により生産される製品の高度化が持続可能な社会づくりに貢献します。

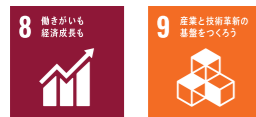
今後の展望と求めるパートナー像

今後、脱炭素化に向けた取組を加速します。製造におけるエネルギーコストの無駄をゼロにするプロセスのデジタル化に挑戦します。デジタル化されたプロセスは、地域企業間での共有を図るべきだと考えます。脱炭素化に向けて課題解決に連携し成果を共有して新たな価値を創造するパートナーを求めます。



五十鈴関東株式会社

幅広いニーズに応えるため
長期経営ビジョン打ち出し
未来社会づくりに参画



📍 邑楽町

住所 邑楽郡邑楽町篠塚3488
TEL 0276-88-3511
Mail hide-s@isz.co.jp
URL <https://www.youtube.com/channel/UCyeGCBu0I9moNrBKnoG-AJQ>
代表者 本郷 正信
設立 1988年6月29日
資本金 2億2000万円
従業員 94人



🏢 企業紹介

【事業内容】薄鋼板の加工・販売を中核事業としている鉄鋼業界の専門商社兼コンサルティング企業です。
【経営理念】いつの時代にも常に大事にし続けているものが、五十鈴の理念『社訓』です。
一、お客様に誠意を尽くそう
一、仕事は實を入れてやろう
一、何でもみんなで話し合おう
この理念を礎として、時代や環境の変化、組織の進化に応じ、その解釈を読み替え「価値創造」していくものと考えています。

➡ 経緯・背景

社会のトレンドが変化していく中で、ニーズに幅広く応えるために、2030年への経営ビジョンを打ち出しました。目指す、わが社の存在価値は『未来社会づくりに参画している会社』です。こうありたいという未来社会、地域社会、企業体、そこに存在する人々のシナリオづくりに参画させていただき、新しいバリューチェーンの形成を創造します。
鉄鋼流通を通じて、LOGサービス・部品用物流パレット・産廃の削減など、サービス領域を現在広げており、更なる貢献を目指しています。

出入庫管理を省人化 エコ化やデジタル化にも力 自社での成果を顧客に提案

📊 具体的な取組・成果

- 省力化の取組
部品用パレットとRFIDを組み合わせた出入庫管理の省人化・省力化による物流効率化。
トラック輸送に関わる安全商材の展開。(昇降階段、ハシゴ、軽量スタンプ等)

【トラック輸送に関わる安全商材の展開】

アルミスタンプ <4つの軽量化メリット>
 ✓約半分の重量(長さ1200mmの場合▲約11KG)
 ✓作業負荷軽減&転倒リスク減
 ✓着脱作業性向上
 ✓積載率アップ(スタンプ8本で▲約90KG)

商品ラインナップ
 ○一般スタンプ
 ○L型スタンプ
 ○落下防止柵用スタンプ
 ○埋め込みスタンプ
 ※面取り(R)可能

商品スペック

タイプ	重量	スタンプ	積載量
タイプ1	1500	110kg	28.9 kN
タイプ2	6,01	11.3 kg/本	26.1 kN

安全商材の展開について

- デジタル化
PC作業のRPA作成を通じた事務業務の効率化の推進。作業手順書、標準書の動画マニュアル作成による教育・業務引継ぎの効率化。(技術伝承)

【動画マニュアルの作成による早期人材育成】

- 動画と現物を見ながらできるから覚えやすい
- 何度も同じ説明を繰り返し確認できる
- 教える人の時間が削減できる
- 遅れや手順を把握してから作業ができる為、効率的

作業区分ごとにボタンを押すと手順が流れる

動画マニュアルを用いたチュートリアルプロセス

社内の作業手順を動画にした指導・育成プロセス

- エコ化
工場内で発生するビニールや材木の廃材リサイクルや再生材を活用した、梱包資材の提供。

【物流資材(木材)のリサイクル・リユース】

※中古買取実績あり

- ✓回収～再生資材まで一括管理が可能
- ✓貴社の産業廃棄物の排出量を削減、廃棄コストダウンに貢献します。

梱包資材などの産業廃棄物リサイクル

- ロジスティクスサービス
高崎工場(玉村町)を活用した中継物流や部材などの一時預かりの対応も可能です。



鋼材、型鋼、部材等のあらゆる鉄鋼製品を配送

これらを社内で実証を繰り返し、自社での成果をお客様にもご活用いただけるようなお手伝いをしています。またエコ活動を通して、CO2削減の普及活動も行っています。

当社にとってのSDGsビジョン

「省力化・エコ化・デジタル化」を通じて、社会課題を解決するソリューションテクノロジーの提供と快適な暮らしをサポートするスマートプロダクトの開発に挑戦し、「サステナブルな未来社会づくり」へ貢献していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

工場が発生する廃棄物に対するエコアプローチや動画を活用した技術伝承等において、一緒に取り組みたい・解決したい企業様との取組へ提案を行ってまいります。

- ①木材・廃プラスチックのリサイクルによるコスト削減や資源の有効活用
- ②エンジニア不足の解消に繋がる動画マニュアルによる技術伝承



有限会社柏屋

新たな視点でブランディング 家具や食器、ユニフォームまで リサイクル徹底



中之条町

住所 吾妻郡中之条町四万4237-1
TEL 0279-64-2255
URL <https://www.kashiwaya.com>
代表者 柏原 益夫
設立 1977年4月26日
資本金 300万円
従業員 19人



企業紹介

群馬県四万温泉にて、柏屋旅館、柏屋カフェ、シマテラスを経営しています。



四万川沿いのテラスで飲食やテイクアウトができるカフェ「シマテラス」

経緯・背景

2022年6月に、新店舗・シマテラスを新築開業するにあたり、SDGs的な観点での取組も、お店全体のブランディングに組み込もうと活動を始めました。

自然とともに生きる会社 だからこそ四万湖の 青い湖面を守りたい

具体的な取組・成果

開業にあたり、家具・食器類の新品購入はゼロ、すべてリユース品・リサイクル品・デッドストック品（流通在庫品）で揃えました。



食器類はリユース・リサイクル品を活用

また、ユニフォームの一部にも古着を使用しています。テイクアウト用の容器も、紙ストローをはじめ、紙容器・リサイクルプラスチックを利用しています。



スタッフ一同、笑顔でお迎えます

2022年10月1日、2023年4月22日、2023年7月22日には、「四万の水際のゴミ拾いでもっと青いシマブルーに」を合言葉に、プロギングイベントを開催します。（「プロギング」は、ジョギング+ゴミ拾いを組み合わせた新しいスポーツです）



10月に行ったプロギングの様子



ゴミ拾いジョグのチラシ

当社にとってのSDGsビジョン

自然とともに生きる地域や会社だからこそ、環境への貢献を常に考えた行動を。お客さまもスタッフも世界中からお迎えする柏屋は、国籍やジェンダーによる不平等をなくします。



今後の展望と求めるパートナー像

何か新しい取組をするときはもちろん、既存業務の改善にも上記ビジョンに合致しているかを着手の基準の一つにします。再生可能エネルギー、廃棄物の再資源化などを得意とする会社の方々とパートナーシップを組みたいです。また、多国籍に対応するためにデジタル技術の活用も含めたコミュニケーション力向上も行いたいです。



株式会社Connect

外国人材の就労を支援 個々の特性や能力を生かした キャリアアップ後押し



高崎市

住所 高崎市本町10-1 イチカワビル3階
TEL 027-310-8670
Mail contact@connect-ltd.jp
URL https://connect-ltd.jp/
代表者 本島 明文
設立 2012年7月
資本金 2,000万円
従業員 120人



企業紹介

2012年7月の創業以来、「働く人が第一」主義を掲げ、能力のある労働者が当たり前になれる環境を提供するために、労働者派遣事業者として常に新しい雇用の創出にチャレンジし続けています。近年は、登録支援機関として、特定技能人材をはじめ外国人材の就労支援に特化したサービスを提供しています。



経緯・背景

国内の少子高齢化の進行に伴い、人材不足に悩む業界への人手不足の解消策として近年注目されている外国人材の受入れは、その受入れプロセスにおける様々な局面で、当社の得意分野である通訳・人材ビジネスと直結しています。外国人材を、単に人手不足を補うだけの役割ではなく、本当の意味で企業の戦力として活躍していけるよう取り組んでいきます。

外国人の方たちが 働きがいを持って 活躍できる社会の実現へ

具体的な取組・成果

●日本人と共に同じ雇用条件で働ける環境を整備
当社に在籍している派遣社員のうち、外国人材が半数以上を占めており、「同一労働同一賃金」においては、国籍問わず、派遣法規定に基づき、定められた賃金以上を支給しています。また、健康診断やキャリアアップ、年に1回の勤務評価についても実施しており、日本人と同一条件の雇用条件で働ける場所を提供しています。

受入企業の見学にも担当者が付き添い採用に繋がるように働きかけ、採用後も仕事上の問題だけでなく日本での生活に対する問題を解消するため、受入企業側との間に入り問題解決に対応し、安心して就労生活を送れるようにサポートを行っています。



当社SDGsの取組書

●本来持っている能力を異国の地で生かせていない外国人材

「技術・人文・国際業務」のビザの外国人材に特化した職業紹介を展開している中での課題として、外国人の方にとっては、言葉や文化・習慣の違いで日本人が就活するよりも不利な状況であることが多い現状があります。当社では、スキルが高い外国人材に対して、履歴書・職務経歴書の書き方の指導や、本人の適性に合った就業先の選定、面接対策として事前の面接の練習や日本語レベルの確認、面接後のフォローなどを行い、就労支援を行い課題解決に努めています。

●外国人材と共栄共存できる社会、外国人材がストレスなく生活できる環境を整備

雇用環境整備士第V種を配置し、外国人雇用における現状と課題、環境法令や必要な環境整備の知識を社内で共有し、英語、ベトナム語、インドネシア語、スペイン語、ネパール語が話せる職員を常駐させ、外国人材の受入体制を整備しています。

●外国人に特化した自動車保険代理店

群馬という土地柄から外国籍の方の車両使用も多いにも関わらず任意保険の加入が難しいのが現状です。自動車保険の加入は日本人と外国人の融合・共栄共存していくためにも必要です。また、任意保険未加入の要因として、契約書が読めない、母国語で対応できる場所が少ない、「保険」というものになじみがないなどが考えられます。実際に事故発生時には、相手側に対しての補償がなく、通訳・弁護士もおらず、ケガの保障もない厳しい現実に直面します。そこで、自動車保険の加入の重要性を、FacebookやTikTokなどのSNSを通して発信し、保険加入を促進しています。



外国人の就労生活をサポートしている

当社にとってのSDGsビジョン

性別、宗教、民族にかかわらず、誰もが当たり前になれる雇用環境、自分の特性に合い能力を生かせる職場の提供と、個々の能力のスキルアップを推進させ、皆が働くことにやりがいを感じ、働くことに満足し誇りを持てるような社会への貢献が、持続可能な経済成長の一端に繋がると考えます。

今後の展望と求めるパートナー像

誰もが共栄共存できる社会を目指し、今後も新しい雇用の創出に取り組み、サステナブルな社会の実現を目指します。

特定技能人材、障害者雇用にご興味のある企業様、人材確保にお困りの企業様または請負化を検討中の企業様へ提案を行い、持続可能な成長のお力添えをさせていただきます。



システムセイコー株式会社

SDGsを軸にした製造で
「良き企業市民」に
固有技術生かし自動化推進



高崎市

住所 高崎市福島町713-5
TEL 027-373-2625
Mail postmail@system-seiko.co.jp
URL https://www.system-seiko.co.jp/
代表者 細野 正寛
設立 1990年5月2日
資本金 1,000万円
従業員 87人



企業紹介

システムセイコー（株）は、1990年の創業以来、半導体・電子部品産業用省力機器、検査装置の設計・製作及び精密部品の加工を行い、今日まで発展してきました。

当社は、企業理念に掲げられた「お客様の満足度向上を目指します。」「社会に役立つ価値ある製品を創ります。」「社員の待遇向上を目指します。」に則り、生産性の大幅な向上と社員一人一人の成長・人材を育てることに全力で取り組んでいます。

そして、SDGsを軸にした製品開発・製造を通じて、地域社会に貢献し続ける「良き企業市民」として発展していきます。

経緯・背景

当社は、技術的難易度の高い高精度部品の加工事業の他に、半導体・電子部品産業用ハンドラ、部材搬送装置などの省力機器や検査装置の設計・加工・組立・調整・検査・保守メンテナンスを行っており、装置設計、組立技術等を有しています。

そして、その固有技術を使い、お客様や自社内の自動化を推進することが、SDGs達成に繋がると考えています。

安心安全な製造現場を実現 バリ取りロボット開発で 生産性、品質の満足達成

具体的な取組・成果

①安心・安全な製造現場づくり

～ミスト集塵機を自社開発・前橋工場稼働中～

【取組】

工場内作業環境や健康経営の視点から、工作機械から発生するオイルミストを吸引分離除去する小型ミスト集塵機を自社開発し、前橋工場稼働中です。本機は、小型化することで狭い場所のミストも除去できるようになっています。

【成果】

工場内の空気環境は良好で、工場内に漂うミストは感じられません。このように、工作機械から発生するミストを回収することで、安心・安全な製造現場づくりを自社内で整備することができました。

また、同時にエアコンなどのフィルター目詰まりも改善でき、電力削減にも貢献しています。



安心安全な製造現場づくりのため自社開発したミスト集塵機

②品質良好・作業時間大幅短縮

～面倒なバリ取りをロボットで解決～

【取組】

複雑な金属加工品のバリ取りは、手作業では長い時間を要し作業性が悪く、作業員への負担、バリ残しや作業員のスキルのばらつきなど製品品質に影響を与えるリスクも潜んでいます。

そこで当社は、産業用ロボットと各種センサーを用いた「バリ取りロボット」を自社開発しました。

【成果】

「バリ取りロボット」のロボット部は、6軸制御、位置繰返し精度±20μmという高性能多関節ロボットであり、金属加工産業で利用可能なNCプログラム変換機能により、手作業で行っていたバリ取りを簡単に自動で行うことができるようになっています。

本機の導入により、従来の1/5という時間でバリ取り

が自動化でき、労働生産性の大幅な向上と品質向上（作業員への負担軽減）の両者を満足することができました。

また、「バリ取りロボット」開発において、若手従業員がシステム開発に携わることで、最先端技術に触れ、新たな発想による「社員の教育」にもつながりました。



自社開発したバリ取りロボットで作業時間大幅短縮、品質向上

当社にとってのSDGsビジョン

価値ある製品の創造と技術革新で日本のものづくりを支えます。

企業理念に掲げる「社会に役立つ価値ある製品を創ります」を信念に、ものづくりを行う企業として環境改善・自動化・省力化の開発を促進させ、サステナブルな社会の実現と技術革新に挑戦していきます。そして、ものづくり産業のSDGsへの関わり方に貢献いたします。

今後の展望と求めるパートナー像

当社の保有する省力化・検査・搬送・高精度部品加工技術と先進性のある企業との協業で、未来を共感し、そして共に成長発展できるものづくり企業集団を目指します。

そのためには、全社員が最先端技術に触れることによる働きがいを持ち続け、成長できる人材となるように育成していきます。

そして、専門性の高い企業集団で、100年に1度といわれる産業革命、それに伴う産業構造変革でも、持続的成長を成し遂げ、SDGsで掲げられた社会課題を解決していきます。



有限会社スタイル

県産材活用し自社製品
新しい価値の創造に向け、
森林保全の普及に取り組む



伊勢崎市

住所 伊勢崎市日乃出町399-1
TEL 0270-25-2829
Mail styleworks@style-actus.com
URL https://www.style-actus.com
代表者 松島 郁夫
設立 2001年4月15日
資本金 300万円
従業員 46人



企業紹介

「楽しく、快適に暮らせる」をテーマに地域の方の住空間と時間を想い、創り上げていくことがスタイルの企業理念です。県内で唯一、インテリアの「アクタスショップ」を運営、自社ブランド「丁寧な暮らしの店三島家具」を運営。店舗事業のほか住宅展示場のモデルルームや旅館、ホテル、クリニック、カフェ等のインテリアコーディネート、新築やリフォーム・リノベーションの住宅設計事業も2020年から本格スタート。より良い空間づくりのためにできることをスタイルらしく提案いたします。

経緯・背景

藤岡市桜山で2016年から毎年実施している山のお仕事体験教室のお手伝いしたことをきっかけに、県産材の存在を知りました。自社で販売している木製品は、外国産材が多いことに気づき、身の回りの素材を使ってお客様へ提供できないかを考えました。多野東部森林組合などと協業し、地域材を活用した自社製品づくりや、樹が木材になる過程をお客様に伝えることが、新しい価値の創造につながると実感しました。お客様と一緒に山へ入って、体験してもらい、森林保全について普及する活動を行っています。

机や玩具、そして空間 子供たちに木を通して 多様な体験を届ける

具体的な取組・成果

群馬県産材を使った子供家具や木製玩具の製品開発を実施しています。「木と"触れ合う"、"木と"学ぶ"、"木と"ともに成長する」をコンセプトに「KITO (木と)」ブランドを立ち上げました。KITOの木育イベントは2019年より各店舗のイベントで毎年実施しています。木のおもちゃで遊ぶブース、木工体験ワークショップ、木が製品になるまでの過程を知る木育展示を行っています。藤岡市桜山で間伐したヒノキ材を使ったデスクや玩具は、スタイル伊勢崎店・三島家具で常設展示を行っています。



子供ワークショップ

また2016年より「山のお仕事体験」の演出・木工ワークショップのお手伝いをさせていただいています。子供たちの目の前で木を伐採する様子を見せたり、自分で木を切らせたり、間伐した木でつくる木工品づくりを行い、これらをきっかけに山へ興味を持ってもらおうという活動です。さらに冬桜の苗の植樹体験



山のお仕事体験

などを通して、未来へ繋げる活動も行っています。

住宅事業では県産材活用を推奨しており、県産材の床材を提案しています。前橋市の「広瀬団地プロジェクト」では前橋工科大学を中心としたチームで、老朽化した団地を大学生と再生をする「LIFORTプロジェクト」をスタート。団地の各部屋に県産材を利用し、リノベーションしました。住む学生には木の説明をして、山に興味を持ってもらえるような仕組みにしています。



広瀬団地プロジェクト

当社にとってのSDGsビジョン

良い製品づくりを行い、永く愛着をもって暮らしを豊かにすることをモットーに、ウッドマイレージを低くするために、自分たちにより近い地域材を活用した木工製品の販売を行うことで、CO2排出量の抑制を考えたものづくりを実現すること、地域を愛し、持続的な産業を実現するための仕組みを構築すること。

今後の展望と求めるパートナー像

スタイルは山とお客様を繋げる役目を果たしていきたいです。30年後の未来を想像して、自分たちの子供たちが住みやすい環境を残してあげたい。自分たちの近くにある山や木に価値があることをお客様へ届け続けていきたいです。そのために必要な空間や時間を一緒に作れる企業、仲間、お客様と今後とも進めていきたいです。



株式会社SUBARU

商品全体で環境に貢献
工場でもCO2排出削減し
自然との共生目指す



東京都・太田市

住所 本社:東京都渋谷区恵比寿1-20-8 エビスバルビル
群馬製作所:太田市スバル町1-1
TEL 03-6447-8000
URL <https://www.subaru.co.jp>
代表者 中村 知美
設立 1953年7月15日
資本金 1,537億9,500万円
従業員 16,961人 (連結会社 合計36,910人)
(2022年3月31日現在)



企業紹介

私たちSUBARUは、クルマや航空機といったモノや技術を生み出す会社にとどまらず、お客様の笑顔をつくる会社になることを目指しています。「安心と楽しさ」を提供価値とする個性的で魅力ある会社であるとともに、商品・サービスを通じてお客様に真摯に向き合い、お客様の良きパートナーでありたいと考えています。「お客様第一を基軸に『存在感と魅力ある企業』を目指す」という経営理念のもと、多様化する社会ニーズに貢献するとともに、企業としての社会的責任を果たしていきます。

経緯・背景

私たちは、企業としての社会的責任を果たすことで社会から信頼される企業となり、持続的な成長を目指すと同時に、愉しく持続可能な社会の実現に貢献していきます。2030年に向けた持続可能な未来を実現するための開発目標SDGsにおいて、事業の強みを活かして社会に貢献する領域と社会の要請に応える領域から構成されるSUBARUグループのCSR重点6領域について「ありたい姿」を明確にすることで各領域の取組を一層強化し、SDGsの達成に積極的に貢献していきます。

水力発電由来の電力購入や 高効率の空調機器導入 県有林の保全整備支援も

具体的な取組・成果

- 環境:CO2排出量削減の取組
 - ◇購入電力のカーボンニュートラル(本工場、大泉工場)
群馬製作所本工場では、2020年11月から「電源群馬水力プラン」に切り替え、全購入電力を水力発電由来の電力とし、2021年度は約25,000t-CO2の削減になりました。
また、2021年度の群馬製作所大泉工場の購入電力5,586MWhに対して非化石証書を活用することで、2,474t-CO2を削減しました。
 - ◇高効率空調機器の導入(矢島工場)
自動車の塗装工程では「温める」「冷やす」を繰り返す必要があり、大量のエネルギーを必要とします。そこで、群馬製作所矢島工場では、2018年よりヒートポンプを中心とした高効率の熱源システムに変更し、その結果、2021年度はCO2排出量を従来システム比で2,045t-CO2削減しました。

- ◇太陽光発電(本工場、大泉工場、矢島工場)
群馬製作所の3つの生産拠点では太陽光発電設備が稼働しており、2021年度は約3,057t-CO2のCO2排出量削減となりました。
また、矢島工場では、2022年6月から、立体駐車場(パネル容量:630kW)および完成検査棟(パネル容量:853kW)での太陽光発電設備が稼働しています。



矢島工場:立体駐車場の太陽光発電設備



大泉工場:太陽光発電設備

- 生物多様性
 - ◇群馬県立森林公園「SUBARUふれあいの森 赤城」
2018年4月、SUBARUは自動車生産工場がある群馬県の県立森林公園のネーミングライツ(命名権)を取得しました。2023年までの5年間で「SUBARUふれあいの森 赤城」と称し、県有林の保全整備支援を行っています。

当社にとってのSDGsビジョン

SUBARUグループは、持続的な成長を目指すとともに、愉しく持続可能な社会の実現に貢献していきます。SDGsにおいては、SUBARUグループのCSR重点6領域について「2025年のありたい姿」を明確にすることで、SDGsの達成に積極的に貢献していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

私たちは地域の方々とコミュニケーションを図り、その声を経営や取組に反映し、各地域の発展や信頼関係づくりに努めています。関連する皆様と一つの輪になり「地域の発展と住み良い街づくり」を目指し、時代のニーズに応えるため「環境活動」、「交通安全活動」等にも注力し、より地域に密着した活動を展開していきます。



損害保険ジャパン株式会社 群馬支店

安心安全・健康を支援する 先進的なサービス提供 SDGsの理解促進にも力



前橋市

住所 前橋市本町1-4-4
TEL 027-223-5114
URL <https://www.sompo-japan.co.jp/>
代表者 山下 佳之(群馬支店長)
設立 1888年10月
現在の前橋ビルは1990年に竣工
資本金 700億円
従業員 22,537人



企業紹介

1888年(明治21年)「火災から人々を守る」という使命感から日本初の火災保険会社として東京火災(現損保ジャパン)を創業。お客さまを24時間365日体制で火災からお守りするという献身的な「お客さまサービス」の精神から、当時、国から認められた唯一の私設消防団を結成しました。「万が一の時にいち早くお客さまのもとに駆け付ける火消し」のDNAは今でも受け継がれており、損害保険事業を核として、多様な企業と協働しながら、お客さまの安心・安全・健康を支援する先進的なサービスを幅広くご提供し、真のサービス産業に進化していきます。

経緯・背景

「安心・安全・健康のテーマパーク」により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現することをパーパス(存在意義)とし、本業を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。2021年度からの3年間の中期経営計画ではパーパスの実現に向け本業を通じた社会課題解決により、経済価値と社会価値の創出に取り組む「SDGs経営」を経営基盤に位置付けています。

日々変わるリスクから 保険プラスαで地域を守る 手を取り合って課題解決へ

具体的な取組・成果

自治体・地域企業の皆さまとビジネスシーンでも社会貢献活動のシーンでも手を取り合い、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。

●本業を通じた社会課題解決

保険事業・サービスにおいて、自動車保険では2018年にドライブレコーダーを活用した安心運転支援サービス「Driving!」をリリースして以降、サービス付帯前後の比較では約20%の事故削減効果が出ており、「高齢ドライバーの事故多発」や「あおり運転」等の社会課題解決に貢献しています。2021年9月にはドライブレコーダー機器のリニューアルを実施し、機器の高性能化および通信機能を活かした“つながる”ことによるサービス高度化によって、事故時のお客さまの不安解消及び保険金支払い業務効率化に寄与しています。

また、限られた資源の有効活用として、2019年1月に保険業界として初の故障時の修理にかかる損害を補償する「故障運搬時車両損害特約」の販売を開始しました。実際の修理時においても地域の優良な整備工場と連携することで、更なるお客さまへの安心・安全を提供します。

自治体や企業に猛威を振っているサイバー攻撃対策として、当社で提供しているサイバー保険においては単なる補償だけではなく、日々変わっていくサイバーリスクに対するセキュリティを企業の皆さまのIT部門に代わってご提供するなど、保険プラスαで地域の皆さまをお守りします。啓発活動としても、2022年10月には群馬県庁NETSUGENスペースにて当社主催の県内企業向け「サイバーセキュリティセミナー」(講師:群馬県警察、SOMPOリスクマネジメント)を開催しました。

保険事業を通じて地域の皆さまへ安心・安全をお届けし、地域企業の皆さまとともに成長していきたいと考え、取り組んでいます。

●社会貢献活動

当社は2017年に県との地域活性化包括連携協定を締結しました。群馬県の安心・安全、更なる地域活性化に向



赤城の森林の活動の様子

け「自転車保険の普及促進」「防災啓発活動」「悪質な修理業者の撲滅運動」等の取組を行っています。

環境保全活動では県有林整備パートナーとして、地球温暖化防止など森林の機能の向上を図ることを目的に、県有林にパートナー森林「赤城の森林(もり)」を設定し、その整備や保全活動等を行っています。

SDGsの理解促進やパートナーシップの構築を目的とし、SDGsが目指す世界への道のりや、様々な視点からSDGsに関する取組をゲーム形式で体感することで、SDGsへの理解を深め、SDGs達成に向けた行動につなげるための損保ジャパンオリジナルワークショップ「THE ACTION!~SDGsカードゲーム」を開発しました。当社職員がファシリテーターとなり、自治体・地域企業の皆さまに提供していくことでSDGsの本質の理解促進およびパートナーシップ構築を図り、地域課題の解決を目指しています。



SDGsカードゲーム

当社にとってのSDGsビジョン

未来に向けた対話を通じて地域の皆さまと積極的に関わりあいながら、ダイバーシティ&インクルージョンや地域社会への配慮などを自らの事業プロセスに積極的に取り込みます。常に一步先を見据えて、社会へ安心・安全・健康に資する商品・サービスを提供することで、レジリエントで持続可能な社会の実現に貢献します。

今後の展望と求めるパートナー像

当社の「安心・安全・健康のテーマパーク」構想に加え、地域のエコシステムを作っていくことで、地域企業の皆さまにとっても当社にとってもより良いビジネスが生まれ、地域の経済活動を後押ししながら、地域の社会課題解決ができると考えています。地域企業の皆さまと協力・協働の輪を広げ、地域の活性化に貢献します。



株式会社大幸

化学と技術で未来を創造する 「Unsung Hero」 モノづくり通じて社会貢献



伊勢崎市

住所 伊勢崎市日乃出町579-1
TEL 0270-24-3881
URL <https://da-i-ko.co.jp>
代表者 星野 靖志
設立 1973年
資本金 1,000万円
従業員 35人

WEBサイト



企業紹介

(株)大幸は「モノづくりを通じて、化学と技術で未来を創造する」ことをミッションとしている表面処理（めっき・コーティング・トップコート・シーラー）メーカーです。経営理念である「化学と技術で未来を創造する」という考え方の下、一貫してモノづくりを通じた社会への貢献を推進してきました。それは時代が変わっても変わることなく、価値ある企業であり続けるために、お客様へ満足度の高いサービスを提供し、技術の成長を後押しすることで、新たな価値を創造する企業を目指します。

経緯・背景

世界では、感染症の拡大や自然災害の発生、環境破壊など様々な社会問題が深刻化しています。これらの問題に対し、国際社会は「持続可能な開発目標（SDGs）」を掲げ、企業に対しても取組が期待されています。持続可能な社会の実現と価値ある企業を目指して推進体制を構築し、ステークホルダーの皆様に対し、当社の貢献に対する姿勢や取組を知っていただくことが、大切だと考えています。

持続可能な社会の実現と 価値ある企業を目指して 環境負荷の低減に挑戦

具体的な取組・成果

●省エネ・CO2削減

全ての照明器具をLED化し、灯油燃焼型ボイラーから液化天然ガス燃焼型ボイラーに変更することで、燃焼時のCO2排出量を削減しました。今後はデッドスペースを活用した再生可能エネルギー設備の設置や、更なる省電力化に取り組み、カーボンニュートラルでサステナブルな社会の実現へ貢献してまいります。

●工場排水と排気の制御

排水による環境への影響を減らすために、法令等で規制されている化学物質を把握し、使用量の抑制、適切な管理を行い、当社の長年のノウハウを生かし特定排水、工場排水を再利用することで、3年間で水道水を15%以上削減することに成功しました。これは同時に排水も15%以上削減したことになり、自然環境の維持に大きく貢献しています。



大型排水処理装置

また、排気効率の高いスクラバー（排気処理装置）を設置。排気や有害ガスなどを吸着・水洗浄などで処理し、100%の接触を実現したスクラバーを使用することでクリーンな空気の放出に取り組んでいます（従来型は65%程度）。



ライン設備のスクラバーダクト

●人権尊重と教育・訓練

「大幸行動指針」の下、従業員をはじめ、全てのステークホルダーにおいて一切の差別やハラスメントを禁止し、人権を尊重するために、デューデリジェンスのプロセスを構築しています。そのための教育・訓練の年間計画を立て、個人のスキルアップを図っています。

当社での資格認定業務及び権限を設け、一人ひとりの力量と能力を存分に活用できる仕組みをつくっています。最近ではYouTubeを活用した労働安全教育等、厚生労働省の指針に沿った動画での教育・訓練や、化学物質の漏出を想定した緊急事態対応訓練なども個別に実施しています。

●責任ある鉱物調達

当社で必要不可欠なのが、レアメタルです。レアメタルの調達はグローバル・パートナーシップに他なりません。輸入する国が輸出する国の抱える課題をふまえた貿易関係を築くことが大切だと考えています。

当社は、関わる全てのステークホルダーと協力し、全世界にわたり製錬業者及び製錬施設の所在地を特定。戦争や児童労働の原因とされる「紛争鉱物」を使用していないことを確認することで、その責任を果たしています。

当社にとってのSDGsビジョン

これまでに環境対応と社会的価値の創出に向けて取り組んできた活動をさらに発展させ、技術革新と環境負荷の低減に挑戦します。当社の全従業員がSDGsに一丸となって取り組むことで、社会や人々の課題を解決し、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に一層貢献していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

社員一人ひとりのマインドセットを認識することで、潜在能力と想像力を開花させ、スキルアップと共に、SDGsを実務に活用していきます。

SDGsの様々な活動を通じて、社会課題の解決に貢献することで企業価値の向上と持続的な社会の実現に取り組んでいる企業とのパートナーシップを結んでいきたいと考えています。



ダイドードリンコ株式会社 太田オフィス

カーボンニュートラル実現へ 自販機プロジェクト始動 CO2排出量実質ゼロに



太田市

住所 太田市大原町2068-3
(本社:大阪府大阪市北区中之島2-2-7)
TEL 0277-78-1412
URL <https://www.dydo.co.jp/>
代表者 中島 孝徳
設立 2016年2月1日
資本金 350百万円
従業員 780人(全社)



企業紹介

自動販売機による国内飲料拡販事業
～配置業から自販機ビジネスへ～

私たちが創業以来一貫して行ってきたのは、お客様にとって身近な場所に自動販売機を置き、お客様が必要なときに、必要とするものをいつでも購入していただける仕組みです。この「お客様の一番近い場所」で「お客様の求めるものを販売する」というビジネスモデルが、私たちの強みであり、社会で果たすべき役割です。



経緯・背景

私たちは、グループ理念「人と、社会と、ともに喜び、共に栄える」という共存共栄の精神を謳っています。この理念はSDGsの原則である【誰一人取り残さない】にも通じているのが、当社がSDGsに取り組む根幹になります。環境・社会・経済の3つの柱から、SDGs目標達成に向け活動を推進することで、世界中の人々が楽しく健康やかに暮らせる持続可能な社会の実現を目指しています。

支援型自販機を設置 子ども食堂の活動支援 ルート最適化で負荷軽減も

具体的な取組・成果

【循環型社会・脱炭素社会の実現に向けた取組】

- 環境配慮に向けた重点目標の策定
 - ①容器での環境負荷の低減への取組
空き容器回収率2030年までに100%達成
(2021年度:自主回収率は93.0%)
 - ②リサイクルペットボトル「ボトルtoボトル」の推進
プラスチック容器のサステナブル化2030年までに60%以上を実現
 - ③自販機の再生・長寿命化への取組
自販機の長寿命化2030年までに平均寿命15年
(2021年度:平均寿命は11.8年)
- 脱炭素社会に向けた取組
「みんなのLOVE the EARTH」プロジェクト
自動販売機のカーボンニュートラル実現を考えた新プロジェクト。



「LOVE the EARTH ベンダー」イメージ

- ①自動販売機の年間消費電力量に相当する「非化石証書〔注釈1〕」を当社で購入し、稼働時のCO2排出量を実質ゼロに。
 - ②自動販売機設置による地域への植林でCO2吸収源を拡げる活動。
 - ③お客様のニーズに応え、アルミ缶ボトル「LOVE the EARTH缶」を設定。
※注釈1:非化石証書とは
非化石電源(風力・水力等の再生可能エネルギー)で発電された電気環境価値を証書にし、売買可能にしたもの。
- 「スマートオペレーション」による環境負荷軽減
ルートの最適化によるガソリン使用量の抑制
自動販売機の売上データをAIに学習させ、最適

な販売本数に設定するスマートオペレーション体制を導入。AIデータを活用したルートの最適化により、ルートカーの年間使用燃料を29.0%削減。
(2021年度:2016年比)

- SDGs浸透活動
ワークショップ開催「みんなで学ぼうSDGs」から「働こうSDGsの目指す未来へ」
社内外で、SDGsファシリテーターによるワークショップを開催。学校や行政で導入実績のあるSDGsゲームを活用し、SDGs達成に向けてどのような選択をするのかを考える機会を設ける。
- ダイバーシティ推進
生産性の向上とワークライフシナジーの実現
女性従業員の活躍促進・高齢者の活躍支援・障がい者の雇用促進・時短、フレックス勤務
- 社会貢献活動
飲料購入の際の収益の一部を支援先に寄付することができる自動販売機を推進。
(支援先:日本赤十字社・国境なき医師団)
日本財団・緑の募金
自動販売機を通じて《こども食堂ネットワークぐんま》への支援活動を開始しました。直近では、館林に自動販売機を設置いたしました。

当社にとってのSDGsビジョン

私たちは2030年のありたい姿として、グループミッション2030「世界中の人々の楽しく健康やかな暮らしを創造するDyDoグループへ」を定めました。SDGsの目指す未来の実現に向けて、貢献することが私たちのミッションです。世界中の人々が楽しく健康やかに暮らせる持続可能な社会を目指していきます。

今後の展望と求めるパートナー像

持続可能な社会の実現は、一企業だけでなく、産官学公民の連携が達成への近道だと考え、実践していくことで体現されるものだと感じております。
傾聴だけでなく、自分にできることは何かを考え一緒に実践していただけるステークホルダーを求めています。【1人の100歩ではなく、100人の1歩】が大切になります。